外国語科学習指導案

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ		
実施日	令和４年９月２７日（火）	実施時間	４限目
場所	２年２組教室	指導者	三宅　志信
対象生徒	２年２組	使用教科書	WORLD TREK ENGLISH COMMUNICATION II (桐原書店)

外国語科　目　標			
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなど的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
(1)英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を４技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。 (2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3)英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
具体的な言語活動			
聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
・教科書の英語を聞き、穴埋めをしたり、ディクテーションをしたりして、本文に関するQ&AやT-F問題に答える活動。 ・教科書の英語を聞いて、要点を聞き取り、メモをとったり、表にまとめたりする活動。	・教科書の英文を読んで、得た情報を表にまとめる活動。 ・教科書の物語文を読んで、発問に答えながら、おおよそのあらすじを理解する活動。 ・教科書の英文を読んで、Q&A や T-F 問題に答える活動。	・教科書の英文を聞いたり、読んだりした内容を踏まえて意見交換をする活動。 ・教科書で出てくるテーマについて、情報や自分の考えをまとめて発表する活動。 ・教科書の英文を聞いて書いたメモを用いて、本文の要点を伝える活動。	・与えられたテーマについて、内容の構成に気をつけて自分の考えを書く活動。 ・教科書の英文を読んで、要点を捉えながら内容を簡単にまとめる活動。

単元名	Lesson 4　Nebuta, the Soul of Aomori
単元の目標	ねぶた祭りについての説明を読み、その魅力や祭りに関わる人たちの思いを理解する。 ①ねぶた祭りとはいつどこで行われ、ねぶたという言葉が何を意味し、祭りの最大の見所である山車が何を題材としているかを読み取ることができる。 ②ねぶた祭りにハネとして参加するにはどうしたらよいか、かけ声や踊り方はどうするか、ハネの鈴にまつわる話とは何かを読み取ることができる。 ③ねぶたの山車は、ねぶた師の監修のもとでどのように作られるか、また女性初のねぶた師となった北村さんの活躍や思いを読み取ることができる。

具体的な評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・助動詞 may（推量）、must（強い推量）の用法を理解している。 ・＜seem＋to 不定詞＞の用法を理解している。 ・＜助動詞＋完了形＞の用法を理解している。 ・発音、音変化、イントネーションなどに注意しながら英文を聞いて、文字に書き取ることができる。	・イラストを使って本文の内容を説明することができる。 ・自分がおもしろいと思う祭りについて調べて表に整理し、発表することができる。	・"ねぶた祭りについての説明を読み、その魅力や、祭りに関わる人たちの思いを理解しようとしている。" ・自分がおもしろいと思う祭りについて調べて表に整理し、発表しようとしている。

単元計画

次	時	評価基準と評価方法	学習活動
Get Ready Part1	1 2	【評価基準】 ・ねぶた祭りとはいつどこで行われ、ねぶたという言葉が何を意味し、祭りの最大の見所である山車が何を題材としているかを読み取ることができる。 【評価方法】 ・行動の観察・記述の確認	【予習】 ・パートごとの単語や表現を辞書などで調べ、ワークシートの表を完成させる。 【授業】 ・新出単語の発音と意味を確認する。 ・教科書の本文を一緒に１文ずつ読み、内容を理解する。 ・T/F の文章を聞き、空欄に適語を入れる。 ・助動詞 may（推量）、must（強い推量）の用法を確認する。 【宿題】 ・本文をスラッシュごとに訳す。 ・本文の課末問題を解く。
Part2	3 4	【評価基準】 ・ねぶた祭りにハネとして参加するにはどうしたらよいか、かけ声や踊り方はどうするか、ハネの鈴にまつわる話とは何かを読み取ることができる。 【評価方法】 ・行動の観察・記述の確認	【授業】 ・新出単語の発音と意味を確認する。 ・教科書の本文を一緒に１文ずつ読み、内容を理解する。 ・T/F の文章を聞き、空欄に適語を入れる。 ・＜seem＋to 不定詞＞の用法を確認する。 【宿題】 ・本文をスラッシュごとに訳す。 ・本文の課末問題を解く。
Part3	5 6	【評価基準】 ・ねぶたの山車は、ねぶた師の監修のもとでどのように作られるか、また女性初のねぶた師となった北村さんの活躍や思いを読み取ることができる。 【評価方法】 ・行動の観察・記述の確認	【授業】 ・新出単語の発音と意味を確認する。 ・教科書の本文を一緒に１文ずつ読み、内容を理解する。 ・T/F の文章を聞き、空欄に適語を入れる。 ・＜助動詞＋完了形＞の用法を確認する。 【宿題】 ・本文をスラッシュごとに訳す。 ・本文の課末問題を解く。
Story Review Grammar Review Communication Task	7 8	【評価基準】 ・イラストを見て本文の内容をまとめることができる。 ・自分がおもしろいと思う祭りについて調べて表に整理し、発表することができる。 【評価方法】 ・行動の観察・記述の確認・発表	【授業】 ・イラストを見て、適切な語句を入れる。 ・各パートで習った文法の復習をする。 ・自分がおもしろいと思う祭りについて調べて表に整理し、発表の準備をする。 ・自分がおもしろいと思う祭りについて発表する。 【宿題】 ・発表原稿を完成させ、発表の練習をする。

本時の学習指導案

小単元 および 本時の位置	Lesson 4 Nebuta, the Soul of Aomori Part 2	本時の目標	ねぶた祭りにハネトとして参加するにはどうしたらよいか、かけ声や踊り方はどうするか、ハネトの鈴にまつわる話とは何かを読み取ることができる。
生徒の実態 及び 指導観	とても素直な生徒たちである。明るい雰囲気で、問いかけに対して積極的に答えてくれる生徒もいる。学力には大きな差があり、17人中10人が GTZ D3 に位置している。上位層の生徒はおとなしい生徒が多く、発言も時々しかしない。そのため、基本的な単語が出てこず、間延びしてしまうことがある。また、気分にムラがある生徒も多く、日によっては重たい雰囲気の中授業をすることもある。 ペアワークを取り入れると、すぐに脱線してしまうペアがあったり、言葉が出てこない生徒へのフォローが必要だったりと、1人ではなかなかうまく回せないため、基本教師の問いかけに生徒たちが答えていくスタイルで授業を進めている。また、パワーポイント等、教科書やワークシートと表示形式が違うものを提示すると混乱する生徒もいるので、なるべく生徒が持っているものと同じ形式のものを表示するよう注意する。日によっては、助けを求めて自ら教卓の横に座って授業を受ける生徒もいるため、その生徒への対応もしつつ、クラス全体をなるべく見渡し、適切に対応する必要がある。		

観点別評価	A	知識・技能	積極的に知識や技能を活用する言語活動に取り組んでいるか。
	B	思考力・判断力・表現力	簡単な情報や考えなどを理解したり、読みとって表に書き込んだりしているか。
	C	主体的な学習態度	主体的にコミュニケーションを図ろうとして、自分の考えなどを表現しているか。

指導過程

指導過程	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
小テスト （10分）	快速英単語小テスト	・快速英単語の小テストを行う。 ・次の小テスト範囲の音読を行う。	・最後まであきらめずに解くよう促す。 ・自宅での学習を促す。	A 適切な単語を答えられているかを確認する。 A 発音を正確にしているか確認する。 C 最後まであきらめずに解いているかを確認する。
導入 （5分）	本課の導入	・Part1 の内容の復習を、写真を見せながら行う。 ・渡された表に、現時点でどのくらいまで書き込むことができるか挑戦する。	・少しでも本時の内容に興味を持つよう、ヒントとなる写真を見せながら簡単な英語で復習しつつ説明する。	B 自分の考えを英語で表現しようとしているか。 C 日本語でも答えようとする姿勢を見せているか。
展開 （25分）	新しい単語の意味確認 本文内容理解	・黒板に投影された教科書を見ながら、本文を一緒に1文ずつ確認し、本文の内容を理解する。 ・T/F を聞き、空所補充をしつつ T/F の判断をする。 ・本文で出てくる文法を確認する。	・発音、アクセントに気をつけながら音読させる。 ・教科書を一緒に確認しながら、大事なところには線を引かせたりメモを取らせたりする。 ・英文を2回ゆっくり読み、英語が苦手な生徒でも頑張ろうとする姿勢を取らせる。 ・昨年度文法参考書で習っていることなので、復習も兼ねて説明する。苦手な生徒にはヒントを出す。	A 発音を正確にしているか確認する。 C 積極的に声を出しているかを確認する。
まとめ （5分）	次回の授業連絡 宿題配布	本時のまとめと、次の時間の活動を簡単に説明しつつ、宿題を配布する。 宿題 本時で学習したことを確認するために、本文のスラッシュ訳と、課未問題をまとめたワークシートに取り組む。	各自で黙って取り組む。	B 授業で習ったことをワークシートに取り組むことできちんと言葉にできているかを点検する（次回）

試験日　　年　　月　　日　　年　組　番　　/10

快速英単語(高校必修編) p.60~p.63　　氏名

[1] 英語を日本語になおしなさい。

(1) dark

(2) quiet

(3) weak

(4) full

[2] 日本語を英語になおしなさい。

(1) 新鮮な, 新しい

(2) 病気の; 吐きそうな

(3) 真の, 本当の; 現実の, 実際の

(4) まっすぐな, 一直線の; 直立した

[3] 空欄に適当な日本語を入れなさい。

(1) He painted the wall of the house with a wide brush.
彼は家の壁を (　　) ブラシで塗った。

(2) I dream of being rich some day.
私はいつか (　　) なることを夢見ている。

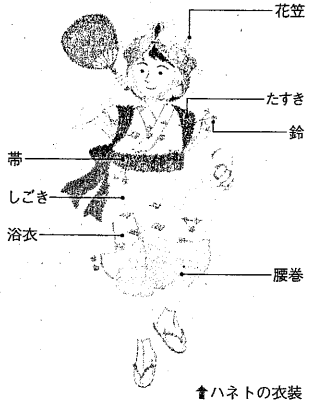
Part 2 ねぶた祭りに参加するには，何をすればいいのでしょうか。

dancer(s) [dǽnsər(z)]
atmosphere [ǽtməsfiər]
costume(s) [kástju:m(z)]
rent(ed) [rént(id)]
tourist(s) [túərist(s)]
hop [hάp]
twice [twáis]
repeat [ripí:t]
bell(s) [bél(z)]
attach(ed) [ətǽtʃ(t)]

At the Nebuta Festival, you can't miss the dancers called "Haneto." Hundreds of Haneto dance around each float. They dance throughout the parade shouting *"Rassera, rassera! Rasse, rasse, rassera!"* Everyone gets caught up in the exciting atmosphere of the festival.

Do you want to join in the dance? All you need to do is wear the festival costumes. Costumes can be rented, and lots of tourists ⓔ seem to enjoy wearing them. The Nebuta dance is very easy: Hop on one foot twice, and then hop on the other foot twice. Repeat this.

As the dancers hop, you can hear small bells ring. They are attached to the costumes. The bells sometimes fall off while the Haneto are dancing, and those who pick them up are said to get good luck.



↑ハネトの衣装

4 **get caught up in ～** ～に夢中になる
6 **all you need to do is ～** あなたがする必要があるのは～することだけだ
13 **fall off** 落ちる，取れる　15 **pick ～ up** ～を拾い上げる

Q1 What are the dancers around the float called?
Q2 Is it difficult to learn the Nebuta dance?

Get the Gist

①英文を聞いて文を完成しなさい。
②その文が本文に一致していればTを，誤っていればFを○で囲みなさい。

1. Haneto are the dancers (　　) (　　) behind the float.　T / F
2. Tourists (　　) (　　) the festival costumes to join the parade.　T / F
3. If you pick up a Haneto's bell, people believe you will have (　　) (　　).　T / F

Grammar seem＋to 不定詞

「～するようだ[するらしい]」＝seem＋to不定詞

・Lots of tourists **seem to** *enjoy* wearing them.　*l.*7
　楽しんでいるようだ

・Your friend **seems to** *need* your help.

It seems that ～ で表すこともできます。

It seems that your friend needs your help.

Practice

日本語に合うように，(　　) に適切な語を書き入れなさい。

1. 彼は日本語を理解しているようです。
   He (　　) (　　) understand Japanese.
2. 彼女の新しい小説はこの頃よく売れているようです。
   Her new novel (　　) (　　) (　　) selling well these days.
3. ジョンはそのルールを理解していなかったようです。
   It (　　) (　　) John didn't understand the rules.

Lesson 4　Nebuta, the Soul of Aomori (Part1 & Part2)

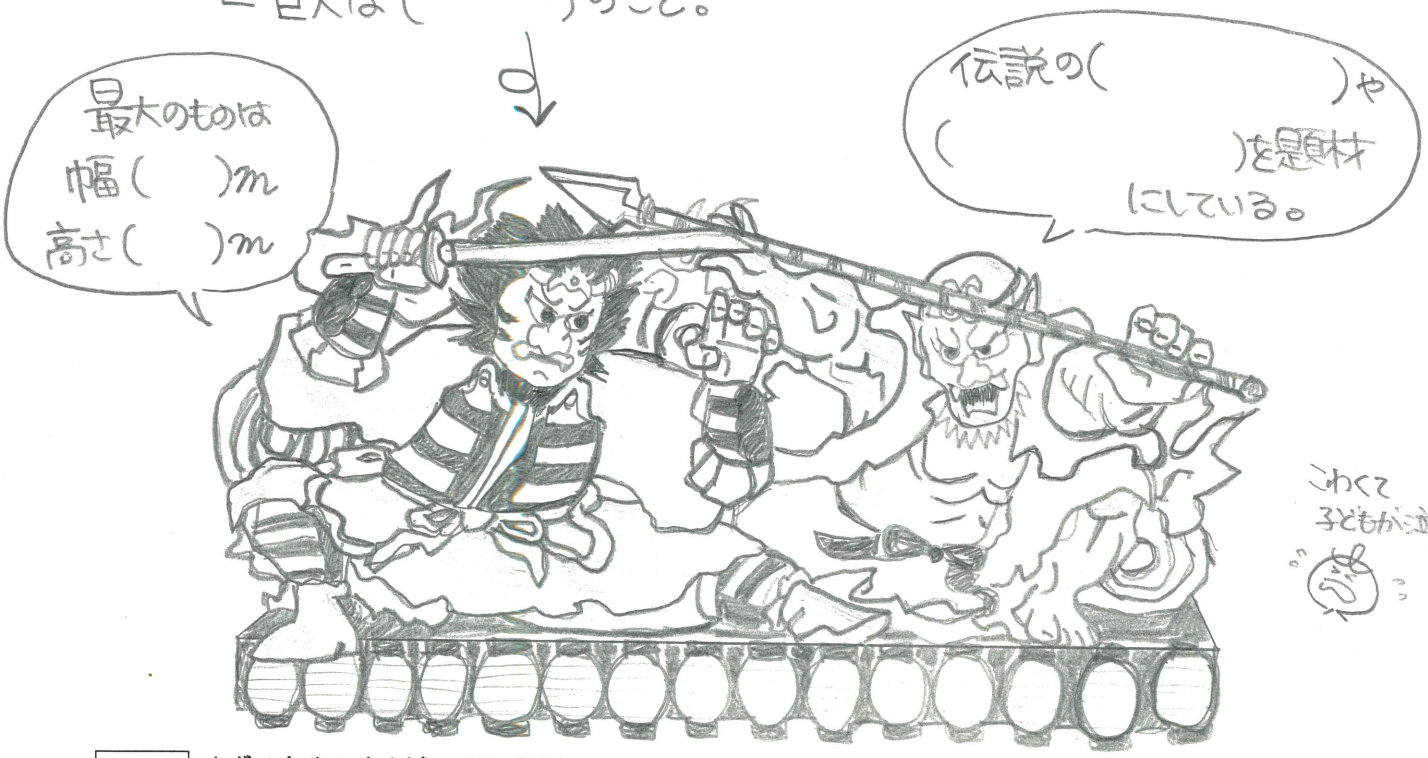
教科担チェック印

2－(　　) NO.(　　) NAME(　　)

TASK 1 前回の復習をしよう!

Part1 の内容に合うように、下の絵や表に語句を書き込みましょう。

ねぶたまつり…(　　)県のまつり。(　　)月に開催される。
└ 巨大な(　　)のこと。



こわくて
子どもが泣いちゃう
かも

TASK 2 まずは自分の力を試してみよう!

Part2 を読んで、下の絵に語句を書き込みましょう。

Lesson 4　Nebuta, the Soul of Aomori

教科担チェック印

Part 2（教科書 pp.48-49）　2－(　　) NO.(　　) NAME(　　)

1	At the Nebuta Festival,	(　　)では
2	you can't miss the dancers called "Haneto."	「ハネト」と(　　)踊り手を(　　)
3	Hundreds of Haneto	(　　)ものハネトが
4	dance around each float.	それぞれの(　　)で踊る
5	They dance throughout the parade	彼らは(　　)踊る
6	shouting "*Rassera, rassera! Rasse, rasse, rassera*!"	「ラッセラー，ラッセラー！ ラッセ，ラッセ，ラッセーラー！」と(　　)ながら
7	Everyone gets caught up	誰もが(　　)
8	in the exciting atmosphere of the festival.	祭りの(　　)に
9	Do you want to join in the dance?	踊りに(　　)ですか
10	All you need to do	あなたが(　　)のは
11	is wear the festival costumes.	(　　)ことだけだ
12	Costumes can be rented,	(　　)は(　　)することができるので
13	and lots of tourists seem to enjoy wearing them.	それで，たくさんの(　　)が(　　)楽しんでいるようだ
14	The Nebuta dance is very easy:	ねぶたの踊りは(　　)だ
15	Hop on one foot twice,	(　　)で2回(　　)
16	and then hop on the other foot twice.	それから，もう(　　)で2回(　　)
17	Repeat this.	これを(　　)
18	As the dancers hop,	踊り手が(　　)と
19	you can hear small bells ring.	小さな(　　)が(　　)のが聞こえる
20	They are attached to the costumes.	それらは衣装に(　　)
21	The bells sometimes fall off	(　　)はときどき(　　)ことがある
22	while the Haneto are dancing,	ハネトが(　　)に
23	and those who pick them up	そして，それらを(　　)人たちは
24	are said to get good luck.	(　　)と言われている

本文をもう一度読んで、以下の問いに答えましょう。

At the Nebuta Festival, you can't miss the dancers called "Haneto." (1) (_____) of Haneto dance around each float. They dance throughout the parade shouting "*Rassera, rassera! Rasse, rasse, rassera!*" Everyone gets caught up in the exciting atmosphere of the festival.

Do you want to join in the dance? (2)(____) you (____) to do is wear the festival costumes. Costumes can (3) rent, and lots of tourists seem to enjoy (4) wear them. The Nebuta dance is very easy: Hop on one foot twice, and then hop on (5)(____) foot twice. Repeat this.

As the dancers hop, you can hear small bells (6)(____). They are attached to the costumes. The bells sometimes fall off while the Haneto are dancing, and those who pick them up are said to get good luck.

Q&A

1. 本文の内容に合っていればT、合っていなければFを書きなさい。

① (____) Anyone can be a "Haneto," or Nebuta dancer, without a festival costume.

② (____) Tourists can enjoy dancing in the festival by wearing costumes which can be rented.

③ (____) Small bells are attached to the dancers' arms, and they ring each time they hop.

④ (____) Dancers who can keep the small bells on them till the end of the festival are said to have good luck.

2. 下線部(1)が、「何百もの」という日本語になるように、(　)に当てはまる一語を答えなさい。

(____)

3. 下線部(2)が次の日本語に合うように, 空所に適切な語を書きなさい。

あなたがする必要があるのは, 祭りの衣装を身に着けることだけだ。

(____) you (____) to do is wear the festival costumes.

4. 下線部(3)、下線部(4) を、文に合うように、それぞれ適切な形に直しなさい。

(3) (____)　(4) (____)

5. 空所(5)に入る適切な語を選び, 記号で答えなさい。

ア. others　イ. another　ウ. the other　エ. the others　(____)

6. 空所(6)に入る適切な語を選び, 記号で答えなさい。

ア. ring　イ. rings　ウ. to ring　(____)

7. 次の質問に英語で答えなさい。

① What are the dancers around the float called?

— They are called "(____)."

② Do Haneto dance throughout the parade?

— (____), (____) (____).

③ What do they shout?

— They shout "(____), (____)! (____), (____), (____)!"

④ Does everyone get excited?

— (____). Everyone (____) (____) (____) in the (____) (____) of the festival.

⑤ Is the dance easy or difficult?

— It is (____) (____).

⑥ In the dance, what do you do first?

— (____) on (____) (____) twice.

⑦ What do you do next?

— (____) on (____) (____) (____) twice.

外国語科学習指導案

科目名	ベーシック英語		
実施日	１１月７日（月）	実施時間	45 分
場所	プレゼンルーム	指導者	門田 直道
対象生徒	２学年（総合進学コース）	使用教科書	Speech Navigator2

外国語科　目　標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなど的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を４技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。 (2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3)英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

具体的な言語活動			
聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
・JTE のモデルスピーチや、クラスメートのスピーチを聞いて、特定の英語表現や非言語的情報を手がかりに、スピーチの内容を大まかに把握する活動。 ・発表を聞いて、自他のパフォーマンス上の課題点を探す活動。	・モデルスピーチ原稿や、サンプルテキストを読んで、文章の展開や構成があることを確認する活動。	・完成させたスピーチ原稿を暗唱して発表、録画する活動。 ・相互評価によって確認した課題点を参考に、練習してより良いパフォーマンスを目指す活動。	・与えられたテーマについて、内容の構成に気をつけて、自分の考えを書く活動。 ・英文を書く際、翻訳機能や辞書などを効果的に使いながら、伝わりやすい表現に洗練していく活動。

単元名	Lesson 7　Traveling （応用：School Trip）
単元の目標	(1)「修学旅行で訪れたい場所」について英語で考えをまとめて伝える際に、基本的な音声・語彙・表現などの理解を深めるとともに、相手にわかりやすい構成で文章をまとめたり、より伝わりやすくするためのパフォーマンス上の工夫（声量・速さ・ジェスチャー等）を試みたりすることができるようにする。 (2)発表の練習をするにあたり、ただ眺めて暗記するのではなく、何度も書く、声に出す、友達と協力してアドバイスをし合う等の多角的なアプローチが重要であることを理解し、実践する。 (3)自分とクラスメートの発表動画を観ることで、誠意あるフィードバック（ポジティブかつクリティカル）をする経験を積み、自分自身のパフォーマンス向上に繋げられるマインドを育てる。

具体的な評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・英語の音声や語彙、表現、文法の知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあっている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

単元計画

次	時	評価基準と評価方法	学習活動
A	1 2	【評価基準】 モデルスピーチの内容や、文章の構成を理解できている。 【評価方法】行動の観察	・JTE のモデルスピーチ、参考になる表現について確認する。 さらに、ある型に沿って文章を展開すると情報がまとまりやすくなることを確認した後、生徒の原稿作成に繋げる。 ・英語を読む際、どこに抑揚をつけるべきかの観点を学ぶ。
B	3 4 5	【評価基準】 手順に沿ってスピーチを完成させている。パフォーマンステストに向けた練習に、各回適切に取り組んでいる。 【評価方法】行動の確認・記述の確認	複数の練習タスクを確認し、JTE のチェックを受け次第、次の活動に以降していく（原稿完成、発音確認、書いて覚える、暗唱する、動画撮影する、生徒同士で動画をみてコメントし合う）。 ・抑揚をつけるべき観点を自分の原稿に適用し、音読の練習時に意識出来るようにする。
C	6 7 8	【評価基準】 自分のパフォーマンスと向き合い改善に繋げることができる。相手のパフォーマンスに誠意あるフィードバックをすることができる。 【評価方法】行動の確認・提出物確認	・ペアを作り、それぞれのパフォーマンス動画を視聴、（自己/他者）評価・コメント、評価が厳し過ぎたり甘くなり過ぎたりしていないかの議論。 ・フィードバックを受けて練習、再度動画撮影。 ・メンバーを組み替えて、再度動画視聴＆フィードバック。 ・帰宅後（Wi-Fi がある環境で）、動画を Google Classroom に提出。

本時の学習指導案

小単元 および 本時の位置	Lesson 7 パフォーマンス自己評価	本時の目標	自分のパフォーマンス動画をペアで評価し、改善点をみつけて 再挑戦する。
生徒の実態 及び 指 導 観	２学年普通コース（２クラス合同）３０名。本科目：ベーシック英語（学校設定科目）では、「外国語によるプレゼンテーション能力の育成」を軸として、まとまったアイデアを伝える際に効果的な言葉の使い方や、非言語的なコミュニケーションの工夫、原稿作成時に機械翻訳（Google Translate）を効果的に利用するためのスキル等を、習得すべき資質・能力として掲げてきた（教科書は話題提供や表現の参考として活用）。しかし１学期のパフォーマンステストにおいて、声が小さすぎる点と、上手くやろうとする意識の希薄さが喫緊の課題として浮上したため、７月以降、「相手に伝えようとする意識」「練習を重んじる姿勢」の向上に焦点を当てることにした。本単元では、特に音読時の棒読み改善を目指した言語活動を行う。また、評価シートの記述をより具体的な記述に改め、相互評価の際にツールとして役立てられるよう練習も行う。クラス全体の取り組みをマネジメントするのに未だに苦労しているが、「動画撮影による自己認識」「相互評価」「再チャレンジ」のプロセスを習慣化・汎化することが、メタ認知的学習調整能力の育成を促すことに期待している。		

観点別評価	A	知識・技能	本単元で取り上げている習得事項を理解し、言語活動に取り組んでいるか。
	B	思考力・判断力・表現力	伝わりやすい表現や文構成の配慮、パフォーマンス上の工夫を行えているか。
	C	主体的な学習態度	自分の課題点改善に主体的に向き合い、クラスメートの課題点発見に協力できてきるか。

指　導　過　程

指導過程	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
Preview/ Opening （５分）	本時の流れ確認 相互評価をする際の注意点を確認	・事前に決めておいたペアで座っておく。 ・スライドを見て、本時の活動の流れを確認する。 ・Honest listener となるための心掛けについて確認する（Positive & Critical comment の重要性を確認する）。	・授業開始前に座席移動を済ませておく。 ・手順が多いので、視覚的に分かりやすいよう配慮する。 ・最初の指示は日本語を交えて行う。以降、同じ内容を確認するときは英語を用いる。	
Warm-up （７分）	動画視聴 評価の練習	・JTE の用意したプレゼン動画２本を視聴し、発表における望ましい/望ましくない特徴を確認する。それと同時に、評価シートの使い方を再確認する。	・ただ鑑賞するだけでなく、評価シートを使いながら、分析的に見ることを伝える。	
Activity_1 （７分）	Feedback（前半）	一人３分の持ち時間を基本に、以下の活動を行う。 ①事前に準備してきた動画を見せる。 ②評価シートに発表者の評価、および自己評価をつける。 ③ペアで評価得点、良かった点、改善点のコメントを確認する。	タイマーをセットして３分で順繰り活動させる。 ③まで終わると、満足して雑談する生徒が出てくるので、④をしっかり行うよう介入。	C：行動の確認 ・聞く/観る活動への参加 ・コメントしようとしているか A：行動の確認 ・ Positive & Critical commentが出来ているか

		④持ち時間が余ったら、少しでも練習する（周りはその練習を手伝う）。		
Activity_2 （１４分）	練習＆撮影	・先の相互評価、コメントを経て、浮かび上がった課題点を改善できるように練習し、動画を再度撮影する。 ・一度撮影し終わったあとも、活動時間中は何度も自己分析を繰り返す（撮り直してよい）。あるいは、終わっていないメンバーの撮影を手伝う。	活動が停滞するペアが出ることが予想されるので、適宜介入して、時間内の再録画を促す。	B：行動の確認 ・前半フィードバックで発見した課題点を改善するよう練習しているか
Activity_3 （７分）	Feedback（後半）	・メンバーを変える（事前に決めておいた２ペア目に組み替える） （※以下、前半の活動と同様） 一人３分の持ち時間を基本に、以下の活動を行う。 ①撮り直した動画を見せる。 ②評価シートに自己評価（他メンバーも評価する）。 ③ペアで評価シートを見比べて、良かった点と改善点を確認する。 ④持ち時間が余ったら、少しでも練習する（周りはその練習を手伝う）。	・以降、基本的に英語で指示を行う。	C：行動の確認 ・聞く/観る活動への参加 ・コメントしようとしているか A：行動の確認 ・ Positive & Critical commentが出来ているか
Review/ Closing （５分）	評価シートの回収 動画投稿の指示	・クラス別に提出。 ・帰宅後に Google Classroom へ動画を提出することを確認。	投稿の手順をイメージできるように、スライドで示す。	A：提出物確認 ・相互評価（特に Critical comment の書き込み）を真剣に行っているか ・パフォーマンスの向上に努めたことが感じられるか（特に抑揚） ・事前に示した観点に基づくパフォーマンス評価